



TOOLS for MOTIF-RACK ES インストールガイド

ご注意

- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ 巻末にこのソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約が記載されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずこのライセンス契約をお読みください。CD-ROMを開封すると、この契約に同意したことになります。
- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ Adobe、Adobeのロゴ、AcrobatおよびAcrobatのロゴは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- ・ SmartMedia™は、株式会社 東芝の商標です。
- ・ その他、このインストールガイドに掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・ USB MIDIドライバーなどのアプリケーションソフトウェアは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新のアプリケーションソフトウェアは、下記URLからダウンロードできます。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/>
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。

CD-ROMについて

データの種類

このCD-ROMには、コンピューター用のソフトウェアが入っています。ソフトウェアのインストールについては4ページ(Windows)、6ページ(Macintosh)をご参照ください。

- ⊘ このCD-ROMを、オーディオ用のCDプレーヤーで再生しないでください。大音量により耳に障害を被ったり、CDプレーヤーやスピーカーなどが破損する恐れがあります。

データの対応OS(オペレーティングシステム)

このCD-ROMのデータは、Windows XPとMac OS Xに対応しています。WindowsとMacintoshではデータの内容やインストール方法が異なります。以下、各OSに対応した説明をお読みください。

- ・ Windows (Windows XP) 3ページ
- ・ Macintosh (Mac OS X)..... 5ページ

CD-ROMの活用手順

CD-ROMを開封する前に、巻末の「ソフトウェアのご使用条件」をお読みください。

- 1 お使いのコンピューターで同梱ソフトウェアが動作することを確認します。..... Windows 3ページ、Macintosh 5ページ
- 2 ドライバーをインストールします。..... Windows 4ページ、Macintosh 6ページ
- 3 ソフトウェア(Voice Editorなど)をインストールします。..... Windows 4ページ、Macintosh 7ページ
- 4 ソフトウェアを起動します。

これ以降の操作については、各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューから、取扱説明書(PDFマニュアル)をご参照ください。

NOTE PDFマニュアルをご覧になるには、コンピューターにAdobe Reader(無償)がインストールされている必要があります。Adobe Readerをお持ちでない方は、下記URLからAdobe社のページを開き、Adobe Readerをダウンロードしてください。
<http://www.adobe.co.jp/>

こんなときは

- ・ USBドライバーの設定を変更したい..... 9ページをお読みください。
- ・ ドライバーがインストールできない..... 11ページをお読みください。
- ・ コンピューターからMOTIF-RACK ESが正常に操作できない..... 11ページをお読みください。
- ・ ドライバーの削除、再インストールがしたい..... 11ページをお読みください。

■ Open Plug-in Technologyについて

Open Plug-in Technology (以下OPT) は、DAWアプリケーションなどのソフトウェアからMIDI機器をコントロールするための新しいソフトウェアプラグインフォーマットです。たとえば、シンセサイザー、プラグインボードの音色エディターや、ミキサーをコントロールするエディターなどを、別々に起動させるのではなく、OPTに対応したアプリケーションの中で動作させることができます。アプリケーションごとにMIDI ドライバーの設定などをする必要がなくなり、音楽制作をより快適でシームレスに行なう環境を実現します。

従来のOPTに加えて、トータルリコールを実現するためのOpen Plug-in Technology Version 2 (以下OPT2)があります。Studio Managerは、OPT2対応のホストアプリケーションです。

●OPTのレベルと概要

OPT対応のホストアプリケーションは、以下の3つのレベルに分けられます。



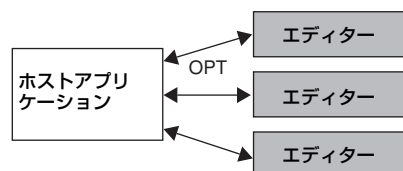
レベル1 (PANELS)のホストアプリケーションでは、プラグインソフトウェアの基本的な機能をサポートしており、代表的な例としては、コンピュータ上でプラグインソフトウェア(エディターなど)のパネルを使って音色エディットができます。



レベル2 (PROCESSORS)のホストアプリケーションでは、プラグインソフトウェアからMIDIデータを受信するなど、レベル1よりも一歩進んだエディットができます。プラグインソフトウェアの多くの機能をサポートしていますが、一部対応していない機能(イベント挿入など)があります。






レベル3 (VIEWS)のホストアプリケーションでは、プラグインソフトウェアが持っているすべての機能が動作します。ヤマハのシーケンスソフト「SOL」や「SQ01」はOPTレベル3 (VIEWS)に対応しています。



OPT対応のプラグインソフトウェアは、OPT対応のホストアプリケーションに直接プラグインされます。

MOTIF-RACK ES Voice Editor動作表




Voice Editor for MOTIF-RACK ESは、以下のように動作します。

ホストアプリケーション対応レベル	MOTIF-RACK ES Voice Editorの動作	
	動作可否	機能制限の内容
VIEWS (レベル3) 	動作する	なし
PROCESSORS (レベル2) 	動作する	なし
PANELS (レベル1) 	動作する	バルク受信に未対応

Voice Editor for MOTIF-RACK ESはレベル2 (PROCESSORS)、レベル3 (VIEWS)のホストアプリケーションではすべての機能が動作します。レベル1 (PANELS)のホストアプリケーションではバルク受信ができません。

NOTE ホストアプリケーション側に対応する機能がない場合は、期待どおりに動作しない場合があります。対応レベルは、OPTのロゴで確認できます(ホストアプリケーションのバージョン情報などに表示されます)。

MOTIF-RACK ES Multi Part Editor動作表

ホストアプリケーション対応レベル	MOTIF-RACK ES Multi Part Editorの動作	
	動作可否	機能制限
VIEWS (レベル3) 	動作する	なし
PROCESSORS (レベル2) 	動作する	なし
PANELS (レベル1) 	動作する	バルク受信、リモートコントロールに未対応

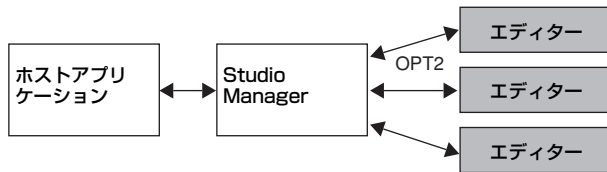
Multi Part Editor for MOTIF-RACK ESはレベル2 (PROCESSORS)、レベル3 (VIEWS)のホストアプリケーションではすべての機能が動作します(ホストアプリケーションによっては、リモートコントロールが機能しません)。レベル1 (PANELS)のホストアプリケーションではバルク受信およびリモート操作ができません。

NOTE ホストアプリケーション側に対応する機能がない場合は、期待どおりに動作しない場合があります。対応レベルは、OPTのロゴで確認できます(ホストアプリケーションのバージョン情報などに表示されます)。

●OPT2の概要



OPT2 は、OPTのレベル1 (PANELS)を発展させて、快適にトータルリコールするための機能を付加したソフトウェアプラグインフォーマットです。Studio Managerをホストアプリケーションとしたトータルリコールだけでなく、トータルリコール対応のDAWアプリケーション上でもStudio Managerを経由してトータルリコールを実現します。



OPT2対応のプラグインソフトウェアは、OPT2対応のホストアプリケーション(Studio Managerなど) 経由でトータルリコール対応DAW アプリケーションに間接的にプラグインされます。

Windowsユーザーの方へ

CD-ROMの内容

Windows用のアプリケーションとコンテンツデータが以下のフォルダーに納められています。

フォルダー名	ソフト名	説明	
Tools_	VEMRKES_	MOTIF-RACK ES Voice Editor	MOTIF-RACK ESのボイスをコンピューター上でエディットすることができます。
	MEMRKES_	MOTIF-RACK ES Multi Part Editor	MOTIF-RACK ESをマルチ音源として使用する場合に、パートパラメーターやエフェクトなどさまざまなパラメーターをエディットすることができます。
USBdrv2k_	YAMAHA USB MIDI Driver	MOTIF-RACK ESとコンピューターをUSB接続するのに必要なドライバーソフトです。	

※ 上記のソフトウェアには、電子(オンライン/PDF)マニュアルが付いています。

※ Voice Editor、Multi Part EditorはStudio Managerをホストアプリケーションとして起動できるソフトウェアですが、Open Plug-in Technology (オープンプラグインテクノロジー)対応のソフトウェアのプラグインとして使うこともできます。詳細は、それぞれのオンラインマニュアルをご参照ください。

ソフトウェアの動作環境

お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

□ MOTIF-RACK ES Voice Editor

OS : Windows XP Home Edition/XP Professional
 対応コンピューター : 800MHz以上のIntel PentiumおよびCeleronファミリーのプロセッサーを搭載したコンピューター
 メモリー : 256MB以上
 ハードディスク : 30MB以上の空き容量
 ディスプレイ : 1,024 x 768ドット以上、High Color (16 bit)以上

□ MOTIF-RACK ES Multi Part Editor

OS : Windows XP Home Edition/XP Professional
 対応コンピューター : 800MHz以上のIntel PentiumおよびCeleronファミリーのプロセッサーを搭載したコンピューター
 メモリー : 256MB以上
 ハードディスク : 30MB以上の空き容量
 ディスプレイ : 1,024 x 768ドット以上、High Color (16 bit)以上

□ USB MIDI Driver

OS : Windows XP Home Edition/XP Professional
 対応コンピューター : USB端子を装備した166MHz以上のIntel Pentium/Celeronファミリーのプロセッサーを搭載したコンピューター
 メモリー : 32MB以上 (64MB以上推奨)
 ハードディスク : 2MB以上の空き容量

NOTE 上記の動作環境は、2004年12月時点のものです。各ソフトウェアの最新バージョン、および動作環境については、下記URLに最新情報が掲載されています。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/index.html>

ソフトウェアのインストール

アンインストール(アプリケーションの削除)

次の方法でインストールしたソフトウェアを削除することができます。

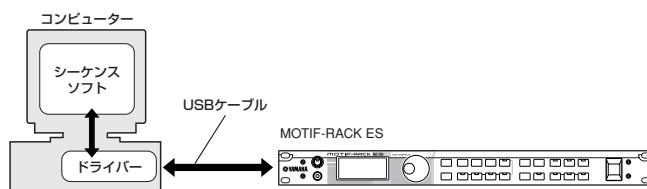
[スタート]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[インストールと削除]で、削除したい項目を選択し、[追加と削除]をクリックします。ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

NOTE ご使用のOSによりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。

USB MIDIドライバーのインストール

MOTIF-RACK ESをコンピューターにて実際に使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。

USB-MIDI ドライバーは、シーケンスソフトなどからUSB ケーブルを通じて、MOTIF-RACK ESに MIDI 信号を送信したり、逆に MOTIF-RACK ES からシーケンスソフトなどに MIDI 信号を送信したりするためのソフトウェアです。



お使いのCD-ROMドライブのドライブ名(D:、E:、Q: など)をあらかじめご確認ください。ドライブ名は「マイコンピュータ」の中のCD-ROMアイコンの下に表示されています。(CD-ROMドライブのルートディレクトリはそれぞれD:¥、E:¥、Q:¥、などになります。)

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
コントロールパネルがカテゴリー表示のときは、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。
すべてのコントロールパネルとアイコンが表示されます。
- 3 [システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ドライバー署名オプション]で「無視—ソフトウェアをインストールし、確認を求めない(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします。
- 4 [OK]をクリックしてシステムのプロパティを閉じてから、画面右上の「X」をクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- 5 CD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを挿入します。
- 6 MOTIF-RACK ESの電源がオフになっていることを確認した上で、コンピューター(またはUSBハブ)のUSB端子とMOTIF-RACK ESのUSB TO HOST端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMOTIF-RACK ESの電源を入れると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が自動的に表示されます。
- 7 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。
NOTE コンピューターによっては、この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。
- 8 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」と表示されます。[完了]をクリックします。
NOTE コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。
- 9 コンピューターを再起動します。
これで、ドライバーのインストールは完了しました。

Voice Editor、Multi Part Editorのインストール

MOTIF-RACK ESとコンピューターを接続して、音色編集やマルチ編集などを行なうためのソフトウェアです。

以下の手順で、2つのソフトウェアをインストールすることができます。

- 1 CD-ROM内の「Tools」フォルダーをダブルクリックします。
「VEMRKES_」、「MEMRKES_」フォルダーが表示されます。
- 2 「VEMRKES_」フォルダーまたは「MEMRKES_」フォルダーをダブルクリックします。
「setup.exe」などのファイルが表示されます。
- 3 「setup.exe」をダブルクリックします。
Voice EditorまたはMulti Part Editorのセットアップダイアログが表示されます。
- 4 画面の指示に従ってインストールを実行します。

操作については、各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューからPDFマニュアルをご参照ください。

NOTE ボスエディターやマルチパートエディターをインストールすると、Studio Managerも自動的にインストールされます。

Macintoshユーザーの方へ

CD-ROMの内容

Macintosh用のアプリケーションとコンテンツデータが以下のフォルダーに納められています。

フォルダー名	ソフト名	説明	
Tools_	VEMRKES_	MOTIF-RACK ES Voice Editor	MOTIF-RACK ESのボイスをコンピューター上でエディットすることができます。
	MEMRKES_	MOTIF-RACK ES Multi Part Editor	MOTIF-RACK ESをマルチ音源として使用する場合に、パートパラメーターやエフェクトなどさまざまなパラメーターをエディットすることができます。
USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver	MOTIF-RACK ESとコンピューターをUSB接続するのに必要なドライバーソフトです。	

※上記ソフトウェアには、電子(オンライン/PDF)マニュアルが付いています。

ソフトウェアの動作環境

お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

MOTIF-RACK ES Voice Editor

OS : Mac OS X 10.3以上
対応コンピューター : G4以上を搭載したMacintoshコンピューター
メモリー : 512MB以上
ハードディスク : 30MB以上の空き容量
ディスプレイ : 1024 x 768ドット以上、32,000色以上

MOTIF-RACK ES Multi Part Editor

OS : Mac OS X 10.3以上
対応コンピューター : G4以上を搭載したMacintoshコンピューター
メモリー : 512MB以上
ハードディスク : 30MB以上の空き容量
ディスプレイ : 1024 x 768ドット以上、32,000色以上

Yamaha USB MIDI Driver for OS X

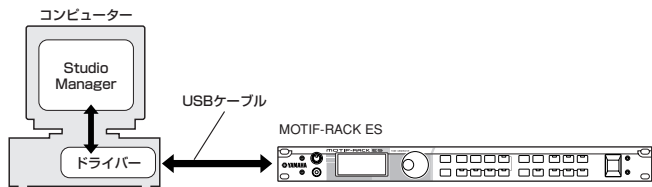
OS : Mac OS X 10.2以上
対応コンピューター : PowerPC以上のプロセッサ、USB端子搭載のMacintoshコンピューター
メモリー : 64MB以上(推奨 : 128MB以上)
ハードディスク : 2MB以上の空き容量

NOTE 上記の動作環境は、2004年12月時点のものです。各ソフトウェアの最新バージョン、および動作環境については、下記URLに最新情報が掲載されています。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/index.html>

ソフトウェアのインストール

USB MIDIドライバーのインストール

本体とコンピューターをUSB接続で使用する場合は、ヤマハUSBドライバーをインストールする必要があります。このドライバーがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。



NOTE インストールの前にキーボードとマウス以外のUSB 機器はコンピューターから外しておいてください。

- 1 コンピューターを起動して、管理者権限のあるユーザーアカウントでログインします。
- 2 管理者権限があるかどうかは、「システム環境設定」の「ユーザー (アカウント)」項目で確認できます。
- 3 CD-ROM上の「Mac OS X」フォルダーをダブルクリックします。
- 4 「USBdrv」フォルダーをダブルクリックします。
- 5 「USB-MIDI Driver v1.****.mpkg」(****にはバージョン番号が入ります)をダブルクリックします。
パスワードの入力を求める「認証」ウィンドウが表示されます。
パスワードを聞かれない場合は、カギのアイコンをクリックします。



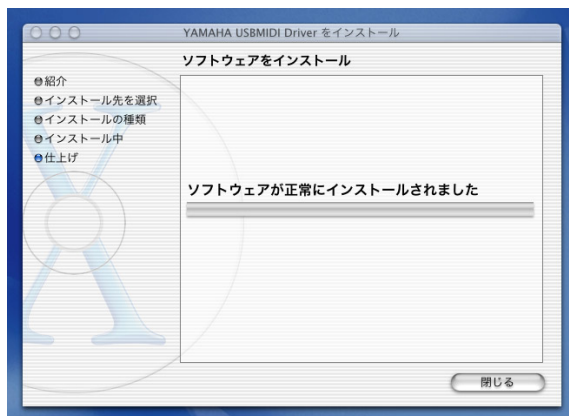
- 6 管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力します。パスワードを設定していない場合はそのまま[OK]をクリックします。
「ようこそYAMAHA USB MIDI Driver インストールへ」と表示されます。



- 7 [続ける]をクリックします。
「インストール先を選択」と表示されます。



- 8 ドライバーのインストール先を選択し、[続ける]をクリックします。
「インストールには、約100MBのディスク容量が必要です。」と表示される場合がありますが、実際に必要なディスク容量は、5ページにあるとおりです。
- 9 「インストール」をクリックして、このソフトウェアパッケージの基本インストールを行いますと表示されますので、[インストール]ボタンをクリックします。
既にインストールされている場合、[インストール]ボタンは、[アップグレード]ボタンになります。
インストールが終わると、「ソフトウェアが正常にインストールされました」と表示されます。



- 10 [閉じる]ボタンをクリックします。
これで、ドライバーのインストールは完了しました。
また、以下の場所にドライバーがインストールされているのを確認することができます。

ライブラリ (Library) → 「Audio」 → 「MIDI Drivers」 → 「YAMAHA-USBMIDIDriver.plugin」

ライブラリ (Library) → 「PreferencePanels」 → 「YAMAHA-USBMIDI Patch.prefPane」

Voice Editor、Multi Part Editorのインストール

- 1 CD-ROM上の「Tools_」フォルダーをダブルクリックします。
- 2 「VEMRKES_」フォルダーまたは「MEMRKES_」フォルダーをダブルクリックします。
- 3 「Install Voice Editor」または「Install Multi Part Editor」をダブルクリックします。
画面の指示に従ってインストールを進めると、以下の画面が表示されます。



- 4 [カスタマイズ]をクリックします。

NOTE [カスタマイズ]を選択しないと、各エディターと英語のPDFマニュアルだけがインストールされます。

- 5 ご希望のPDFマニュアルの言語(Japanese)を選択します。

- 6 [インストール]をクリックします。

- 7 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
操作については、各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューからPDFマニュアルをご参照ください。

NOTE ボイスエディターやマルチパートエディターをインストールすると、Studio Managerも自動的にインストールされます。

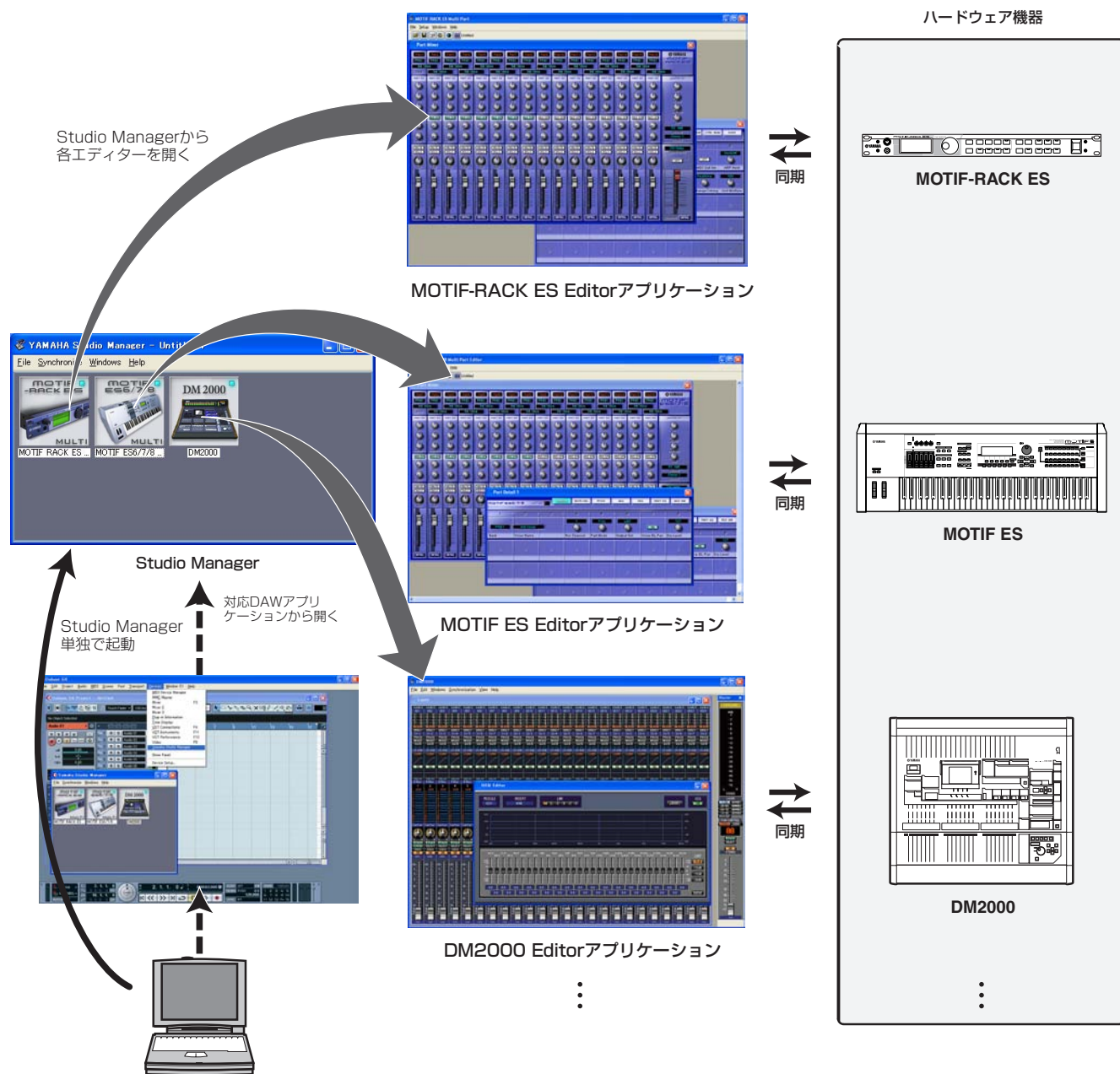
基本操作とセットアップ(Windows/Macintosh共通)

Studio Managerとは？

Studio Managerは、ヤマハのハードウェア製品をリモートコントロールする複数のエディターソフトウェアを起動させたり、複数のエディター設定を保存したりする共通のプラットフォームです。

Studio Managerは、単独のアプリケーションとして起動したり、Cubase SX 3.0以降などのトータルリコール対応DAWアプリケーションでプラグインとして使用したりすることができます。どちらの方法でも、基本的な機能は同じです。対応DAWアプリケーションについての最新情報は、ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.studioconnections.org/>



各エディターの設定は、Studio ManagerまたはDAWアプリケーションでまとめて保存/呼び出しできます。すなわち、複数の機器の設定をStudio ManagerまたはDAWアプリケーションからまとめて呼び出す(リコール)ことにより、システム全体の設定を簡単な操作で変更することができます。この機能をトータルリコールと呼びます。

また、設定ファイルを保存する場合、Studio Managerから操作すれば複数の機器をまとめてリコール、各エディターで操作すればその機器だけをリコール、と使い分けることもできます。DAWアプリケーションで設定を保存すれば、DAWアプリケーションのファイルの中にStudio Managerの設定もまとめて保存し、リコールすることもできます。

Studio Managerの起動と設定

Studio Managerで各エディターを使用するためには、以下のセットアップが必要です。

1 Studio Managerを起動します。

□Windows XP

[スタート]ボタンをクリックした後、[プログラム(すべてのプログラム)] → [YAMAHA Studio Manager]の順にマウスカーソルを合わせ、[Studio Manager]をクリックします。

□Mac OS X

[Applications] → [YAMAHA] → [Studio Manager] の順にフォルダーを開き、「SM2」をダブルクリックします。

□Cubase SX3で使用

Cubase SX3の[デバイス]メニューから[Yamaha Studio Manager]を選択して、Studio Managerウィンドウを開きます(Cubase SX3起動時にStudio Managerも起動しています)。

2 Studio Managerのセットアップを行ないます。

詳しくは、Studio Managerの[Help]メニューからPDFマニュアルをご参照ください。

3 各エディターを起動します。

Studio Managerウィンドウで各エディターに対応するアイコンをダブルクリックしてください。



Studio Managerウィンドウ

4 各エディターのセットアップを行ないます。

操作については、各エディターの[ヘルプ]メニューからPDFマニュアルをご参照ください。

5 各エディターと機器を同期させます。

操作については、各エディターの[ヘルプ]メニューからPDFマニュアルをご参照ください。

USBドライバー設定画面について(Windows/Macintosh共通)

ここでは、コンピューター側のシーケンサーなどで選択されたポート番号と、MOTIF-RACK ESに実際に送られるポート番号などの関係を変更することができます。

Windows: [スタート]メニュー (→[設定])→[コントロールパネル]→[MIDI-USB-Driver]

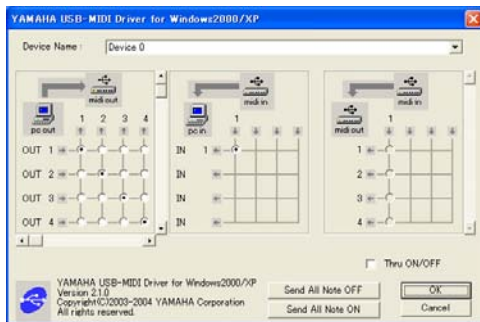
Mac OS X: [アップル]メニュー→[システム環境設定]→[YAMAHA USB MIDI]を選択して、選択画面を開きます。

Cubase SX3などのTotal Recall対応シーケンサーからStudio Managerを起動している場合や、OPT対応シーケンサーからプラグインとしてエディターを起動している場合は、この設定を変更する必要はありません。

NOTE もし、設定を変更してMIDI情報を送受信できなくなったときは、以下の初期状態に戻してください。

NOTE Windowsユーザーの方へ

0-1や0-2などのポート名の「0」は、コンピューターにUSBで接続されているMIDI機器の数を表しています。ダイアログ内の「Device Name」を、この数字と合わせて設定してください。

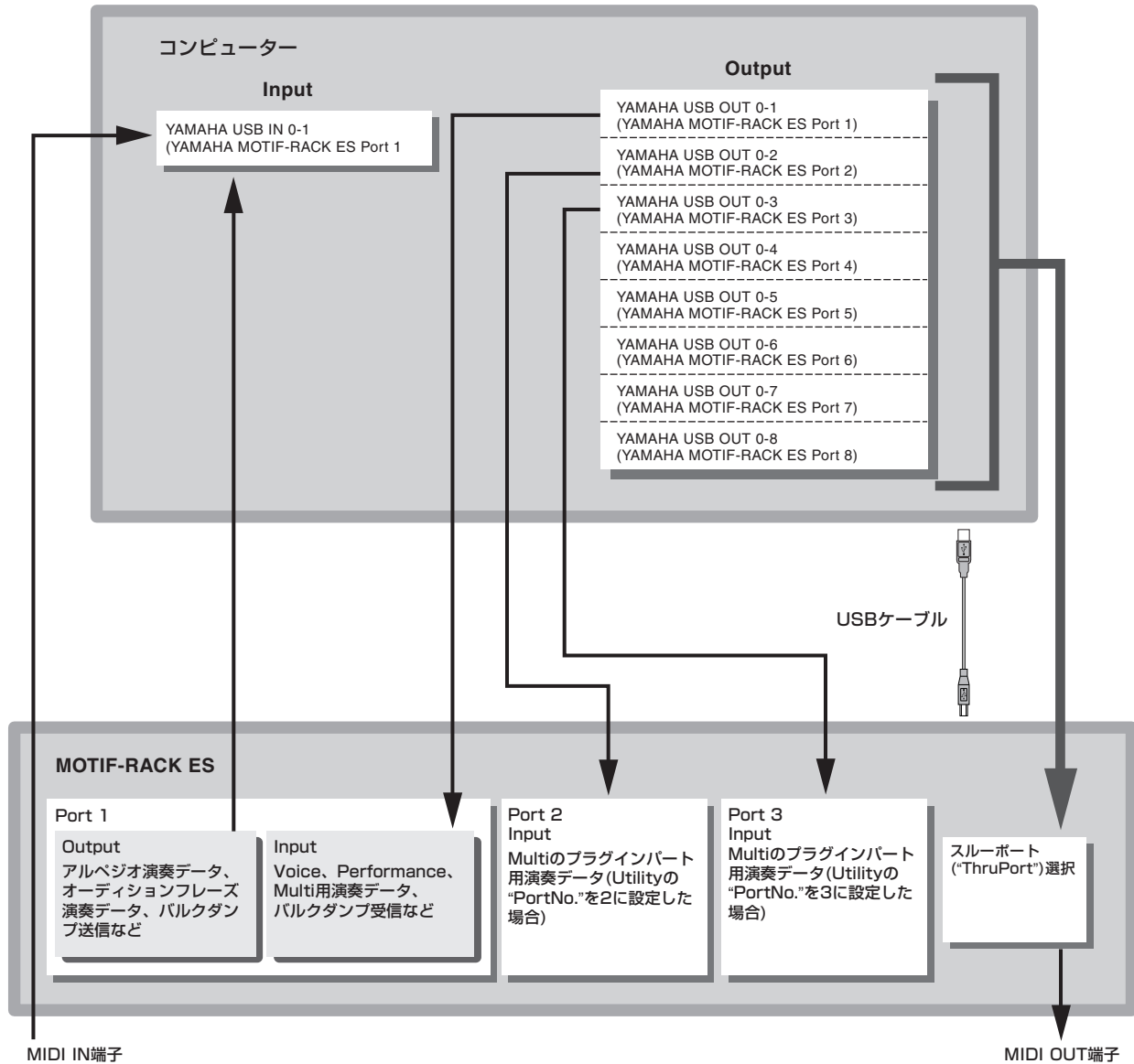


NOTE Studio Managerを単独で起動している場合

シーケンサーとStudio Manager(マルチパートエディター)を同時にMOTIF-RACK ESに接続して使用したいときは、これらのポートを設定して、MIDI入力とMIDI出力をマージ(つなぎ合わせ)する必要があります。詳細は、マルチパートエディターのPDFマニュアルをご参照ください。

コンピューターとMOTIF-RACK ESのUSBポートの関係(Windows/Macintosh共通)

ここでは、コンピューターとMOTIF-RACK ESをUSBケーブルで接続した場合のポートの関係について説明します。



故障かな？と思ったら(Q&A)

●ドライバーがインストールできない

USBケーブルは正しく接続されていますか？

USBケーブルの接続を確認してください(MOTIF-RACK ES 取扱説明書)。一度USBケーブルを抜いて、再度挿入してください。

□Windows XPの場合

お使いのコンピューター側でUSBが使用可能になっていますか？

初めてMOTIF-RACK ESをコンピューターに接続した際、「新しいハードウェアの追加(検索)ウィザード」(4ページ)が自動的に表示されないときは、コンピューター側でUSBを使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。

- 1 「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」でデバイスマネージャを表示させます。
- 2 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」や、その下にある「USBルートハブ」などに「！」や「×」のマークがついていないことを確認してください。「USBルートハブ」などに「！」や「×」のマークがついている場合は、USBが使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご参照ください。

不明なデバイスが登録されていませんか？

何らかの原因によりドライバーのインストールに失敗すると、MOTIF-RACK ESが「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。

- 1 「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」でデバイスマネージャを表示させます。
- 2 「種類別に表示」にチェックが入った状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。
- 3 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して[削除]をクリックします。
- 4 USBケーブルをMOTIF-RACK ESから抜いて、接続し直します。
- 5 4ページの手順6以降に従って、ドライバーをインストールし直します。

●USB経由でコンピューターからMOTIF-RACK ESを操作した場合、正常に動作しない、または音が鳴らない

ドライバーはインストールしましたか(Windows 4ページ、Macintosh 6ページ)？

USBケーブル、オーディオケーブルは正しく接続されていますか(MOTIF-RACK ES取扱説明書)？

音源、再生装置、アプリケーションの音量設定は上がっていますか？

ご使用のシーケンスソフトで適切なポートを選択していますか？

ドライバーは最新のをインストールしましたか？

巻末に記載されているヤマハホームページから最新のドライバーをダウンロードできます。

MOTIF-RACK ES本体のMIDIの入出力の設定がUSBになっていますか？UTILITYのMIDI IN/OUTをUSBに設定してください。

●演奏がもたつく

お使いのコンピューターは推奨環境を満たしていますか(Windows 3ページ、Macintosh 5ページ)？

他のアプリケーションやデバイスドライバーは動作していませんか？

●正常にサスペンド、レジュームができない

MIDIアプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか？

●ドライバーの削除、再インストールがしたい

□Windows XPの場合

4ページをご参照ください。

□Mac OS Xの場合

以下のファイルを削除すると、ドライバーが削除されます。削除後、コンピューターを再起動しドライバーを再インストールします。

～：「ライブラリ」→「Preferences」→「jp.co.yamaha.USBMIDIDriver.plist」(ドライバーロード後に作成されます)

「ライブラリ」→「Audio」→「MIDI Drivers」→「YAMAHAUSBMIDIDriver.plugin」

「ライブラリ」→「PreferencePanes」→「YAMAHAUSBMIDIPatch.prefPane」

NOTE 「～」は、ハードディスクにある「ユーザ(Users)」内の、各ユーザー用フォルダを示しています。

NOTE ドライバーを削除することができるのはルートユーザーだけです。通常のユーザーには削除する権限がありません。

●エディターのPDFマニュアルが開けない

PDFマニュアルをご覧になるには、コンピューターにAdobe Reader(無償)がインストールされている必要があります。

Adobe Readerをお持ちでない方は、下記URLからAdobe社のページを開き、Adobe Readerをダウンロードしてください。

<http://www.adobe.co.jp/>

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。ディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに(14日以内)にご返却ください(ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません)。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はユーザー登録されたお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル(以下「許諾プログラム」といいます)を、お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が有します。

2. 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピューターに伝送することも許されません。

3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

5. 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくはは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくはは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。

■ 商品に関するお問い合わせ窓口

ヤマハデジタルインフォメーションセンター

- ◆ TEL. (053) 460-1666
 - ◆ 受付日: 月曜日～土曜日 (祝日およびセンターの休業日を除く)
 - ◆ 受付時間: 10:30～19:00
- <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

■ 営業窓口

EM営業部

企画推進室

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL. (03) 5488-5430

EM営業部 各地区お問い合わせ先

EM北海道

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 (ヤマハセンター)
TEL. (011) 512-6113

EM仙台

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10
TEL. (022) 222-6147

EM東京

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL. (03) 5488-5471

EM名古屋

〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28
TEL. (052) 201-5199

EM大阪

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9 (心斎橋プラザビル東館)
TEL. (06) 6252-5231

EM九州

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL. (092) 472-2130

PA・DMI 事業部 営業部

MP営業課 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1
TEL. (053) 460-2432

●ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

●ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

●「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」

ミュージックイークラブ・ドットコム

<http://www.music-eclub.com/>

●よくあるご質問(Q&A/FAQ)

<http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。



この取扱説明書は大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書はエコリブ(EcoF: 無塩素系漂白パルプ)を使用しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。